授業科目名	保健体育科教育法Ⅳ	授業形態	講義・演習	授業科目区分	教職科目 (専門)
担当教員名	鵜木　親志・下大迫　晃			補助担当者名	
単位数	2　単位	履修年次	3年次	受け入れ人数	30
授業の概要	授業の実践的能力を高めることを目的とする。指導と評価の計画に基づく指導案の作成，指導案に基づく中学校での授業実践を通して，教員採用後に求められる授業構成力等の育成を図る。授業実践は，体育分野，保健分野に分かれて行うとともに，映像撮影した授業を振り返り，フィードバックを図りながら授業力を高める。保健体育科教育法Ⅲとの選択となるが，より高度な授業力の育成をねらいとすることから，教員採用試験受験が受講の条件となる。				

授業の到達目標及び成績評価の方法

授業の到達目標		成績評価の方法 授業期間：授業	授業期間：テスト	授業期間：レポート	授業期間：発表	定期試験	その他	割合%
■認知的領域	学習指導要領の全領域の指導内容を理解している。 指導法アプローチを領域に応じて選んでいる。 単元構造図作成について理解している。			○				30
■情意的領域	保健体育科教師採用後に求められる資質や能力の獲得に向けて意欲的に取り組もうとする。	○						20
■技能的領域	授業における基本的スキル(説明，板書，師範)を適切に表現することができる。				○		○ (指導案)	50

成績評価の基準	出席2/3以上という条件で，授業期間における演習への参加態度，学習ノートの記載状況，Web-Classでの振り返り，学習指導案の作成，模擬授業の各得点を総合し，60点以上のものを合格とする。
テキスト、教材 参考書	・「中学校学習指導要領解説」　文部科学省　20年9月 ・「評価基準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」国立教育政策研究所　23年11月　教育出版 ・教科書「新・中学校保健体育」　学研 ・その他については，必要に応じて適宜紹介する。
履修条件・ 関連科目	３年次以降の受講が可能で教員採用試験受験予定者を対象としている。 選抜者を対象として開講するので，保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ履修後の受講許可者が対象となる。 編入生の場合，希望者は４年次での受講が可能
備考(教員メッセージ含む)	教員採用試験のための授業ではなく，採用後に求められる資質の向上をねらいとする。
オフィス・アワー	随時 ； 鵜木（609号室）　下大迫（院棟3F第1教員室）

授業計画

回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、ﾚﾎﾟｰﾄ等課題の指示)
1	鵜木　親志 下大迫　晃	授業オリエンテーション　活動グループ、模擬授業担当日の決定	
2	〃	単元構造図に基づくグループ別授業検討	
3	〃	授業参観（中学校において）	ウェブクラスによる相互評価
4	〃	単元構造図の作成	ウェブクラスによる相互評価
5	〃	学内模擬授業	ウェブクラスによる相互評価
6	〃	授業実践（中学校において）	ウェブクラスによる相互評価
7	〃	単元構造図に基づく授業案作成	ウェブクラスによる相互評価
8	〃	学内模擬授業	ウェブクラスによる相互評価
9	〃	授業実践（中学校において）	ウェブクラスによる相互評価
10	〃	単元構造図の作成	ウェブクラスによる相互評価
11	〃	学内模擬授業	ウェブクラスによる相互評価
12	〃	授業実践（中学校において）	ウェブクラスによる相互評価
13	〃	授業実践（中学校において）	ウェブクラスによる相互評価
14	〃	全体省察・討論	ウェブクラスによる相互評価
15	〃	全体のまとめ，振り返り	